

## 教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子

## 3月園だより

令和4年2月25日

February 25, 2022

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai

## 春に向かって

園長 河合 晴美

まだまだ寒い日が続いていますが、暦の上ではもう春です。園庭の木々の芽が少しずつ、確実に膨らんできました。先日、ばら組が植えた菜の花が大きくなり花を咲かせました。少しずつつぼみが膨らみ、黄色の花びらが見えてきたころから、子どもたちは花が咲くときを待ち望んでいました。そして、小さく咲いた菜の花に、代わる代わる鼻を近づけ「なんか、はちみつの匂いがする・・・!」と喜ぶ姿が印象的でした。その嬉しさから菜の花を見ながら、絵にもかき表していました。

5歳児さくら組が子どもたちの数から始めたカウントダウンは、とうとう20を切りました。それは、3月17日の修了式までの日々が残り僅かになったことを表しています。さくら組は、毎日「今日やりたいこと」を精一杯行い一日一日を終えています。その姿をそばで見ている3歳児りんご組、4歳児ばら組の子どもたちは、憧れのさくら組の姿を吸収するかのようによく見て真似をしています。

南山の森の池に氷が張ったときには、氷を取ろうとしてシャベルを持ち出すさくら組の後を追ひ、ばら組は、同じようにシャベルを持ち出しました。水になった氷を再び凍らせるために、カップやたらいを持ち出し池の水を掬うさくら組の横で、りんご組は、ただただ同じようにカップを並べ始めました。1年間の関わりがあったからこそさくら組の存在は、興味や関心を抱く遊びのモデルとして、特別な動きとなって映ります。そして、さくら組の子どもたちが伝えた「水は氷になる、でもまた水になる」という言葉にうなずくばら組の子どもたち、同じことをとにかくやってみるりんご組の子どもたちの姿に、春に向けて大きくなる子どもたちのたくましさ、頼もしさを感じました。

今年度、南山幼稚園の修了児は、30名、開園時からの修了児の総計は、4516名となりました。さくら組さん、おめでとうございます。子どもたちそれぞれにある伸びゆく姿は、未来に向かう希望あふれる姿です。自信をもった子どもたちが胸を張り、堂々と新しい一歩を踏み出すことを願います。

保護者の皆さま、地域の皆さま、一年間御支援、御協力をいただきまして誠にありがとうございました。



&lt;菜の花の絵をかく4歳児&gt;



&lt;氷を発見した子どもたち&gt;



&lt;出席調べを教える5歳児&gt;